

備えて
安心!

災害後も
自宅で過ごす

「在宅避難」 のススメ



本日の内容

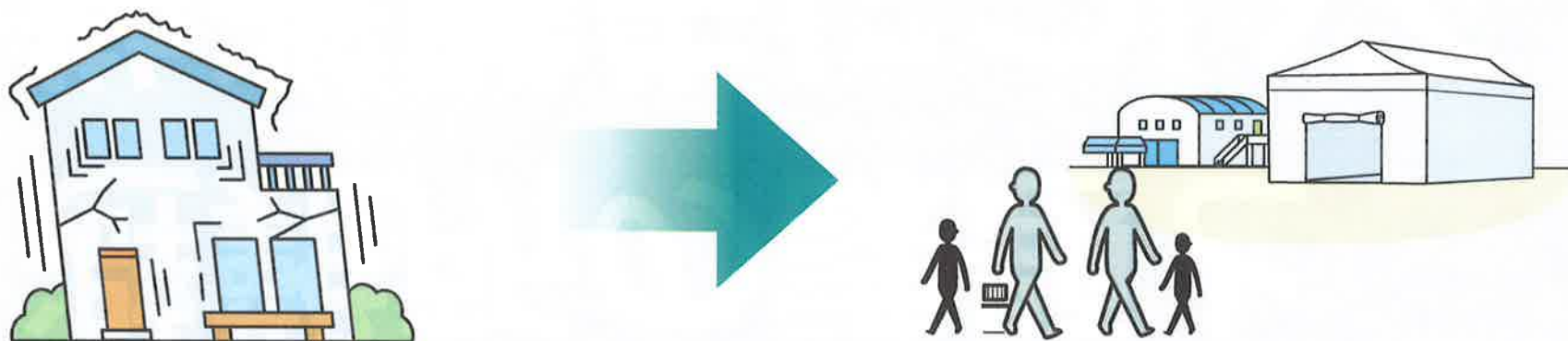
1. 避難所の課題と分散避難先について
2. 「在宅避難」の条件チェック
3. 備えて安心！防災グッズ基礎知識

[第一章]

避難所の課題と 分散避難先について

避難と聞いて何を想像しますか？

災害が発生し避難が必要な場合、多くの方は「避難所に行く」
ことを考えると思います

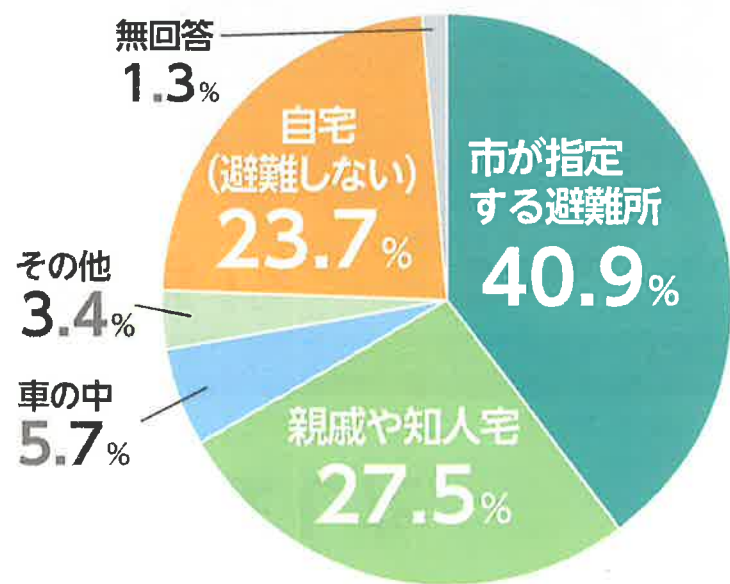


実は“避難”＝「避難所に行くこと」だけではありません
今日は“避難”についての新しい考え方をご紹介します

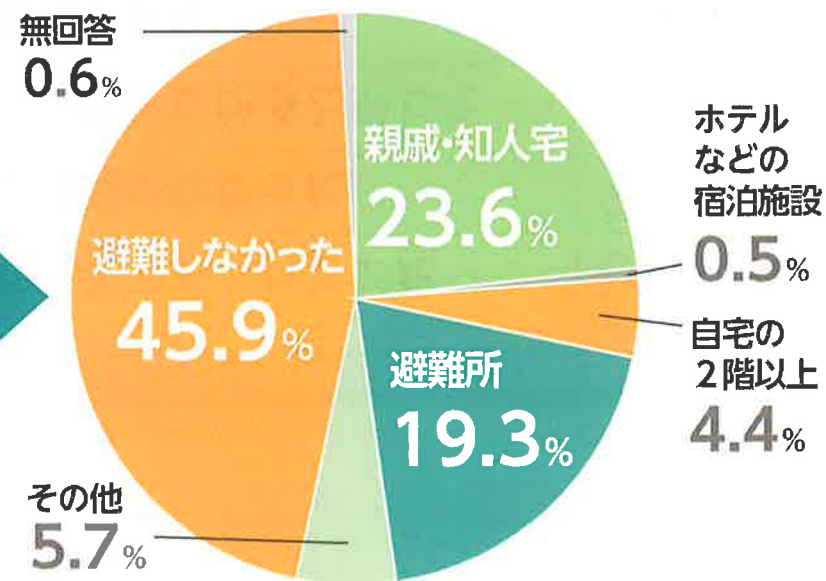
災害が発生した場合の避難先のデータを見てみましょう

想定していた避難先と実際の避難先

災害が発生した場合に
検討している避難先



実際に災害が
発生した際の避難先



出典：令和2年9月 台風19号避難行動等調査報告書(調布市)

多くの方は避難所への避難を検討されています
一方で避難所にはさまざまな課題が見えてきています

避難所の課題について確認してみましょう

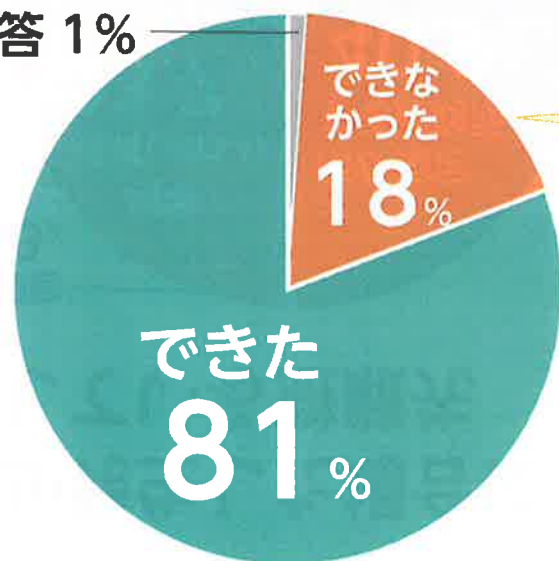
避難所の課題①

滞在できない可能性がある

東日本大震災の際、避難所に避難した方へのアンケート調査の結果、**避難所に滞在できなかった人がいたことが分かりました。**

最初に行った避難所に滞在できたか

無回答 1%



〈総数 890 人〉

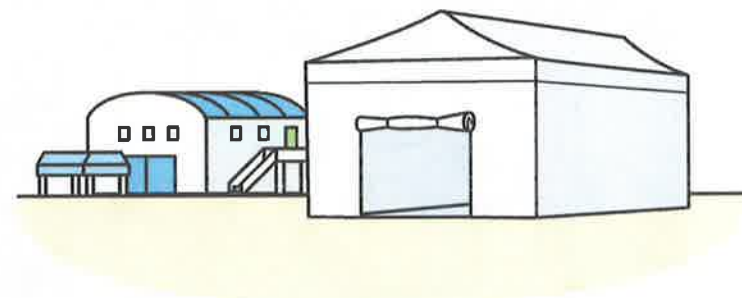
滞在できなかった 164 人の理由（複数回答可）

他の避難者であふれていた	108 人
必要な設備がなかった	36 人
周りに迷惑がかかると感じた	22 人
滞在を断られた	11 人
バリアフリーになっていなかった	7 人
その他	49 人

出典：避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書（内閣府）

最近では、感染症対策のため入れない場合もあります

感染症対策のため 避難所の収容人数を制限

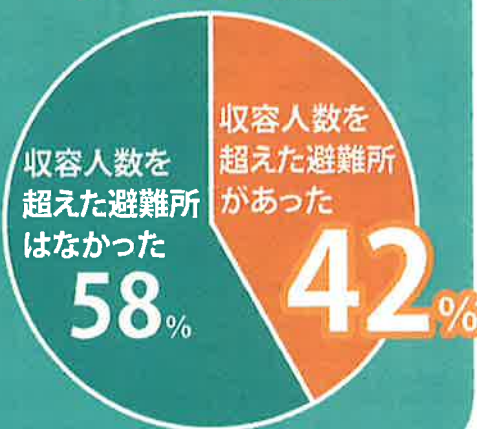


→定員オーバーで滞在できない可能性がある



感染症対策のため
1人あたりの滞在スペースが
従来の倍程度必要になったため、
避難所の定員が大きく
減らされています

令和2年台風第10号の際
〈236市町村に調査〉



出典：令和2年台風第10号を踏まえた今後の台風における避難の円滑化について（内閣府）

避難所に入ることができたとしても・・・

滞在スペースに 不特定多数の人が密集

避難所によっては空調などの換気状態がわるく、
感染症のリスクが高い可能性も・・・



家族以外の不特定多数の
人たちと生活することにより
感染リスクが高まります



避難所は普段の生活とは環境が全く違います

避難所の課題③

避難所の環境によるストレス

避難所で我慢しなくてはならないこと

- ・身体を動かさないことによるエコノミークラス症候群

- ・トイレが汚い

- ・空調がなく暑い（寒い）



- ・なれない場所で知らない人に囲まれる

- ・十分な（好きな）食事ができない

- ・よく寝れない



被災地でのアンケートとヒアリングによると
過去の震災時「準備をしていれば自宅で避難
ができた」との声が寄せられました

※NPO 法人プラスアーツでの実地調査による

災害時は避難所への移動時にもリスクがあります

避難所への 移動中の被災リスク

〔地震の場合〕 壁やブロック塀、建物などの倒壊、火災

〔水害の場合〕 洪水、土石流、浸水



災害から避難するために避難所に行くはずが、
移動中に災害にあってしまっは
元も子もありません

避難所に行くことだけが避難ではありません

避難の本来の意味

避難（ひなん）



「難」を「避」けること

安全な場所にいる人は避難所に行く必要はない

どのようにして災害から身を守るかを
自ら考えることが大切です

「分散避難」という考え方をご存じでしょうか

分散避難

地域の方々がさまざまな避難先に分散して避難すること



避難所



親戚・知人宅



ホテル・旅館

それぞれの避難先の特徴をみてみましょう

避難所生活の特徴



避難所



- 生活に必要な物資や食料が提供される
- 情報が届きやすい
- 話し相手がいる



- × プライバシーが確保できないことがある
- × 周囲に気を遣う
- × 自宅と比べると生活環境が良好ではないことがある
- × さまざまなルールや制約がある
- × 自宅や知人宅等と比べると感染症のリスクが高い

「避難所」生活のポイントを説明します

避難所生活のポイント



ポイント

より安全・安心に過ごすための準備・行動が必要

●感染症を防ぐために基本の感染予防を行なう

手洗い／消毒／ソーシャルディスタンス／マスク着用

●エコノミー症候群の予防のために体調管理を行なう

1日20分以上の歩行／水分を取る／足を下げず水平な寝床で寝る／重要な薬は必ず続ける

●避難者同士のトラブルを防ぐためにルールを守る

消灯時間／自分の生活スペース／トイレの使用法／食事や物資の配給／プライバシーを守る

●避難所生活で役に立つグッズの用意

照明／電源(携帯充電器等)／衛生用品(ウェットティッシュ、ポリ袋等)／防寒用品／常備薬・お薬手帳 等

つづいて「親戚・知人宅」での避難の特徴です

親戚・知人宅での避難生活の特徴



親戚・知人宅



- プライバシーが確保できる
- 災害の影響が少ない地域では水道、電気、ガスが使える
- 話し相手がいる



- × 家主や住人に気を遣う
- × 支援物資や情報が届きづらい
- × 自宅に比べ感染症のリスクがある

「親戚・知人宅」での避難のポイントを説明します

親戚・知人宅での避難生活のポイント



親戚・知人宅

ポイント

受け入れてもらうための事前共有・行動が必要

●家主との日頃のコミュニケーション

お世話になることを事前に伝えておく / 防災グッズを送っておく

●災害状況がひどくなる前に出発する

ひどくなってからだと移動が困難に

●基本の感染予防を行なう

手洗い / 消毒 / ソーシャルディスタンス / マスク着用

最後に「ホテル・旅館」での避難生活の特徴です

ホテル・旅館での避難生活の特徴



ホテル・旅館



- プライバシーが確保できる
- 災害の影響が少ない地域では水道、電気が使える
- 風呂やトイレが使える



- × お金がかかる
- × 支援物資・情報が届きづらい

「ホテル・旅館」避難生活のポイントを説明します

ホテル・旅館での避難生活の特徴



ホテル・旅館

ポイント

災害の影響が少ない施設を選ぶ

- 何日間滞在するか想定しておく+お金の準備

- 災害状況がひどくなる前に出発する

ひどくなってからだと移動が困難に /

住民からの予約が殺到するため、行動が遅いと

部屋の予約が取れない場合も

- 基本の感染予防を行なう

手洗い / 消毒 / ソーシャルディスタンス / マスク着用

さまざまな避難所の候補がありますが、おすすめは・・・

おすすめの避難場所は・・・

避難所



- 生活に必要な物資や食料が提供される
- 情報が届きやすい
- 話し相手がいる

- ×プライバシーが確保できないことがある
- ×さまざまなルールや制約がある
- ×自宅や知人宅等と比べると感染症のリスクが高い など

親戚・知人宅



- プライバシーが確保できる
- 災害の影響が少ない地域では水道、電気、ガスが使える
- 話し相手がいる

- ×家主や住人に気を遣う
- ×支援物資や情報が届きづらい
- ×自宅に比べ感染症のリスクがある

ホテル・旅館



- プライバシーが確保できる
- 災害の影響が少ない地域では水道、電気が使える
- 風呂やトイレが使える

- ×お金がかかる
- ×支援物資・情報が届きづらい

さまざまな分散避難先がありますが、おすすめの避難場所は

被災後も自宅で生活続ける「在宅避難」(ざいたくひなん)がおすすめ!

在宅避難は近年注目されている避難方法です

在宅避難はご存じですか？

在宅避難（ざいたくひなん）とは 自宅で生活すること



自宅での避難生活の特徴



- プライバシーが確保できる
- 気分的に落ち着く
- 周囲に気を遣わずに生活できる
- 感染症のリスクが低い



- × 電気、水道、ガスが使えないことがある
- × 支援物資や情報が届きづらい

在宅避難のポイントを説明します

在宅避難生活のポイント



自宅

ポイント

一定期間を安心して過ごすための備えが必要

- 災害状況が落ち着くまでの期間分の食料・水の用意
- 電気、ガス、水道が止まった際に必要なグッズの用意
照明 / 電源 / 情報収集手段（携帯ラジオ等） /
カセットコンロ / 衛生用品（節水） / 携帯トイレ等
- 情報や物資は定期的に避難所で

重要

どんな状況でも在宅避難ができるとは限りません。
在宅避難が可能かどうかしっかりと条件を確認しましょう！

ただし状況によっては在宅避難ができない場合もあります

状況に応じた複数の避難場所を想定しましょう

状況によって避難先を使い分けることが肝心です



避難所



自宅



親戚・知人宅



ホテル・旅館

各メリットとデメリットを踏まえ、複数の避難場所を想定しておきましょう

重要

被災したときに備えて、どこに避難すべきか
家庭内で共有しておきましょう

在宅避難するための条件を確認しましょう

[第二章]

「在宅避難」の 条件チェック

自宅で避難生活ができるか
どうかを確認しましょう



在宅避難をするための3つの条件

在宅避難をするうえで以下の条件をチェックしましょう！

1

水害
の場合

自分の住んでいる場所が安全

・洪水ハザードマップ・土砂災害ハザードマップ で確認

2

地震
の場合

自分の住んでいる家が強固で安全

- ・家の耐震性が高く倒壊の恐れがない
- ・生活する部屋の家具転倒防止対策ができています

3

水害
の場合

地震
の場合

在宅避難用グッズが用意できている

個別にみていきましょう

①水害の場合

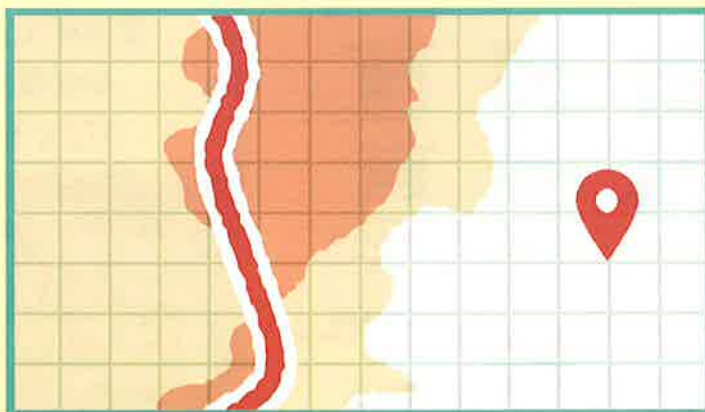
自分の住んでいる場所が安全

ハザードマップで以下を確認

ハザードマップポータルサイト

検索

「場所を入力」の欄に自分の住所を入力する。
もしくは「まちを選ぶ」の欄で自分の市町村名を選択する



洪水ハザードマップ

「洪水浸水想定区域」に色がついている



土砂災害ハザードマップ

「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」に色がついている

家がある場所に色が塗られていなければ
在宅避難できる可能性が高い

※ 色のない場所でも周り比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる場合は避難が必要



ハザードマップの調べ方をみましょう

①水害の場合

自分の住んでいる場所が安全

住んでいる地域を調べておきましょう

ハザードマップポータルサイト

検索

2つのハザードマップが入手できます

重ねる ハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます

「場所を入力」
の欄に自分の
住所を入力する

ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べる～

使い方 利用規約 よくある質問 関連情報

重ねるハザードマップ

～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力

表示する情報を選ぶ

洪水(想定最大規模) 土砂災害 高潮(想定最大規模)

津波(想定最大規模) 道路防災情報 地層分類

過去の代表的な災害事例をみる

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ

都道府県 市区町村

わがまち ハザードマップ

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとのさまざまな種類のハザードマップを閲覧できます

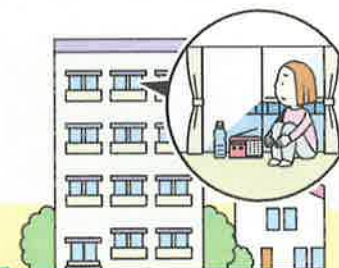
「まちを選ぶ」
の欄で自分の
市町村名を選択する

洪水、土砂災害、津波、高潮、道路防災情報など
身のまわりの災害リスクを知って備えることが肝心です

自分の住んでいる場所が安全かどうかは次の条件で確認できます

①水害の場合 自分の住んでいる場所が安全

色が塗られていても下記の条件に当てはまっていれば在宅避難できる可能性が高い



●家屋倒壊等氾濫想定区域※の外側にいる

※洪水により家屋が倒壊・崩落する恐れの高い区域

●浸水する深さより高いところに住んでいる

○洪水ハザードマップで「浸水深」を確認

●備えが十分あり水が引くまで生活できる

○洪水ハザードマップで「浸水継続時間」を確認

これらの条件に当てはまっていない場合は
在宅避難が難しい場合もあります

もし条件に当てはまってない場合は・・・



浸水リスクがあるため
立退き避難が必要です



土砂災害リスクがあるため
立退き避難が必要です

つづいての条件をみてみましょう

②地震の場合

自分の住んでいる家が強固で安全

築年数を調べてみましょう

人の命を守るための建物の基準を定めた
「建築基準法」が、1981年に大きく変わりました。



1981年6月

旧耐震基準

震度5強程度の揺れでも建物が倒壊せず、破損したとしても補修することで生活できること

新耐震基準

震度6強～7の大地震が発生しても、建物に重大な損傷がなく倒壊しないこと

みなさまはご自宅の築年数をご存じでしょうか？

築年数によっては十分な耐震がないため、
自宅以外に避難をしましょう

もし条件に当てはまってない場合は・・・



建物が倒壊する可能性があり生活できないため
立退き避難が必要です
築年数をしっかりと把握し十分な耐震かどうかを確認しましょう！

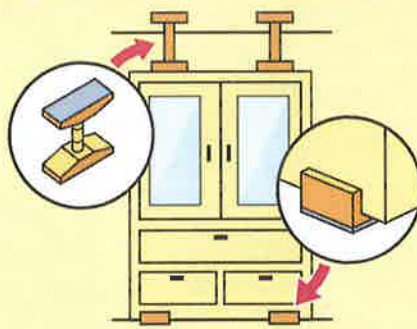
つづいて家具転倒防止についてです

②地震の場合 家具転倒防止対策ができています

家具が倒れると生活は相当不便になります
在宅避難のためには家具の転倒防止対策は欠かせません

専用の器具を とりつける

壁に穴をあけて良いお家は
L型金具を設置
壁に穴をあけられない家の場合は、
上下で器具を組み合わせて設置



身近なもので 対策する

家具の下に滑り止め
マットを敷き、
天井と家具のすき間に
ダンボールを入れる



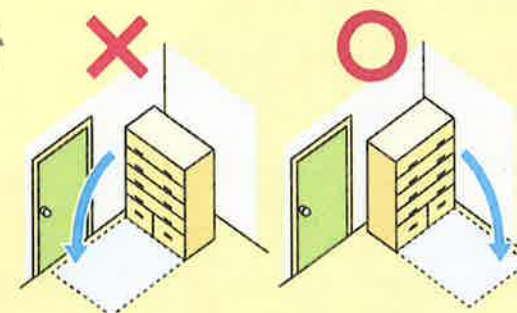
収納のしかたを 工夫する

軽いものを上に、
重いものを下に入れて
家具の重心を下げる



家具の配置を 工夫する

入口や自分が寝ている
場所に倒れてこない
向きに家具を配置



みなさまはこれらの対策をしていますか？

家具の転倒防止をしていないと
災害発生時に危険な状態になります

もし条件に当てはまってない場合は・・・



家具が倒れる可能性があり生活できないため

立退き避難が必要です

在宅避難ができるようあらかじめ家具の転倒防止対策をしておきましょう！

つづいて在宅避難用グッズについてです

③水害・地震

在宅避難用グッズが準備してある

被災による停電・断水・ガスの停止など
ライフラインが断たれるリスクに備えて準備をしておきましょう

停電

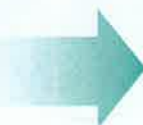
懐中電灯では片手がふさがり
作業がしづらい



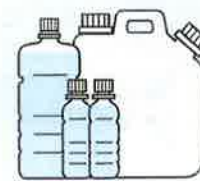
LEDランタン

断水

生活用水が使えず、
歯みがきができないことで
肺炎などの病気になることも



口腔ケア用ウェットティッシュ



水

ガスの 停止

料理ができず、食べられる
食事が限られるストレス、
栄養がかたよってしまうことも



カセットコンロ・ボンベ



非常食

その他、準備しておくべきものが複数あります

在宅避難ができる条件にあてはまらない場合は・・・

条件に合わない場合はどうすれば良い？

身を守ることが最優先です

災害の種類、状況や条件に応じて複数の避難先を想定して避難しましょう

● 複数の避難先を想定しておく

避難所



親戚・
知人宅



ホテル・
旅館

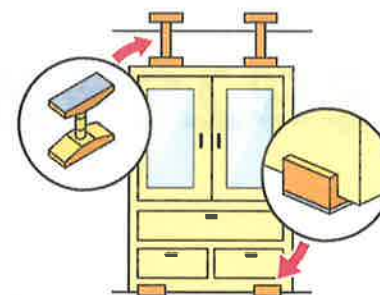


● 色々な状況を想定して「在宅避難」ができるように準備

防災グッズ



家具転倒防止



安心して避難できる「自宅」をつくりましょう！

今日から準備できる！

[第三章]

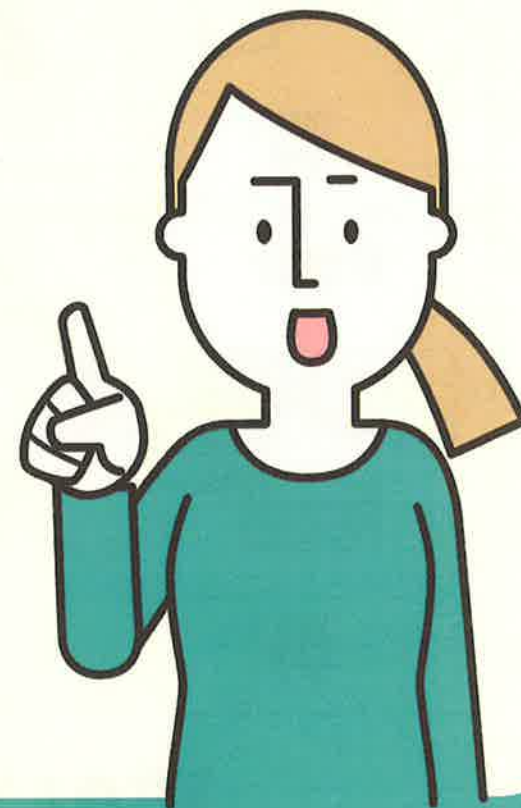
在宅避難に役立つ グッズの基礎知識



防災グッズ優先順位クイズ

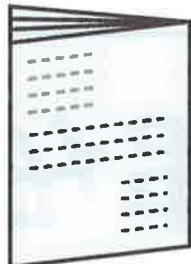
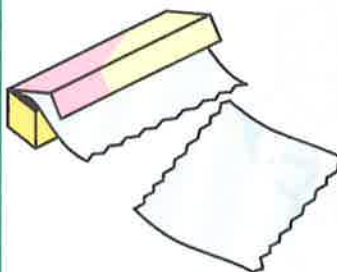
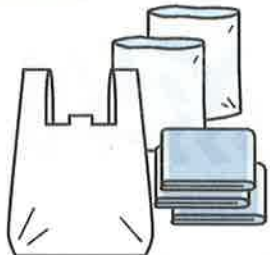
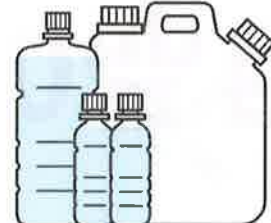
これから紹介する
防災グッズ**10品目**に
優先順位を
つけてみましょう

制限時間:60秒(1分間)



それでは覚えてみましょう!スクリーンに注目!

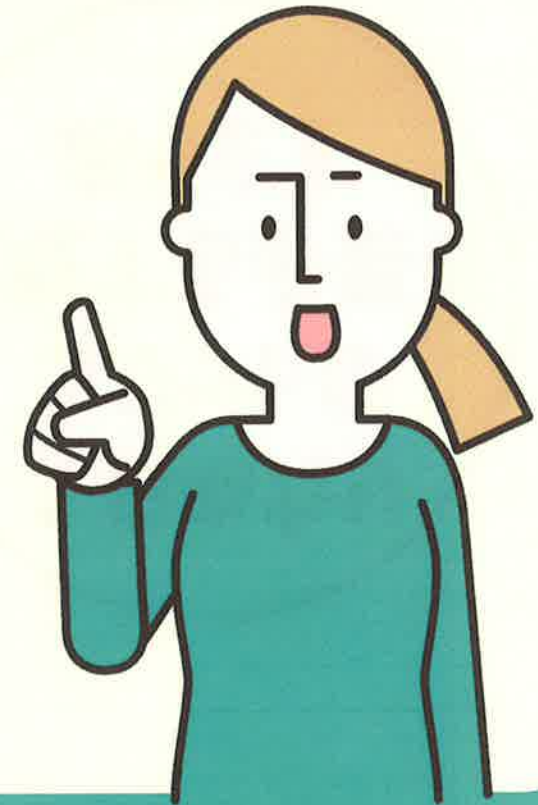
在宅避難生活お役立ちグッズ10選

位  カセットコンロ ・ボンベ	位  新聞紙	位  からだふき ウェットタオル	位  ラップ	位  非常食
位  ポリ袋	位  LEDランタン	位  水	位  口腔ケア用 ウェットティッシュ	位  携帯トイレ

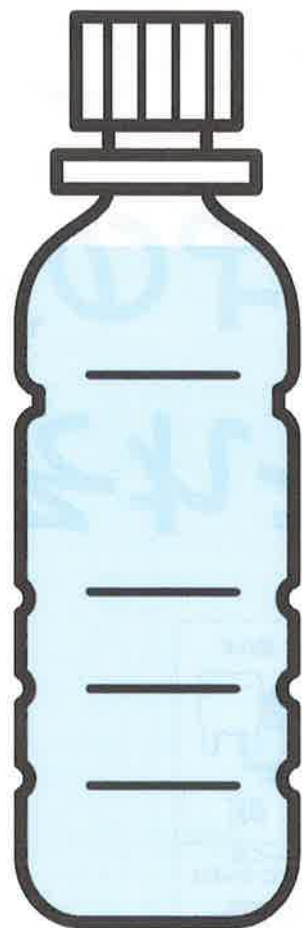
みなさまは優先順位をどのようにお考えでしょうか

☐ 位  カセットコンロ・ポンペ	☐ 位  新聞紙	☐ 位  からだふき ウェットタオル	☐ 位  ラップ	☐ 位  非常食
☐ 位  ポリ袋	☐ 位  LEDランタン	☐ 位  水	☐ 位  口腔ケア用 ウェットティッシュ	☐ 位  携帯トイレ

それぞれのグッズに
どのように優先順位を
つけられましたか？



1位 水



1日あたり
3リットル
摂取する必要があります

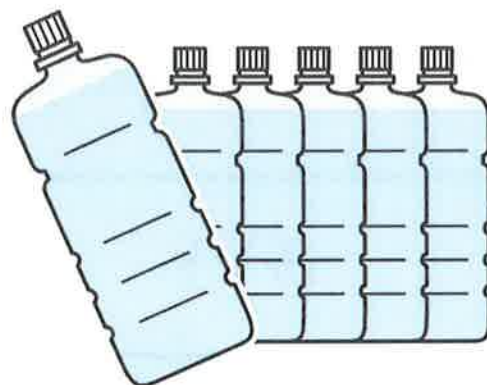
みなさまは普段何リットル
飲んでいますか？

十分な量の水を常備しておきましょう

水は家に何箱必要？

〈1週間分：4人家族の場合〉

●飲み水



×

7箱

2リットルペットボトルの水 1箱（6本入り）

●生活用水

1人あたりの1日平均使用量は **286ℓ**

準備が難しいので節水につながるアイテム（携帯トイレやからだふきウェットタオル等）を用意しましょう

出典：令和2年版 日本の水質源の現況（国土交通省）

もう少し詳しくみてみましょう

水の量の計算式


$$\times \begin{array}{cc} \text{Person 1} & \text{Person 2} \\ \text{Person 3} & \text{Person 4} \end{array} \times 7 \text{ 日分} = 84 \text{ リットル}$$

1人1日
3リットル

4人分

2リットルペットボトル42本 = 6本入りの箱 × 7箱

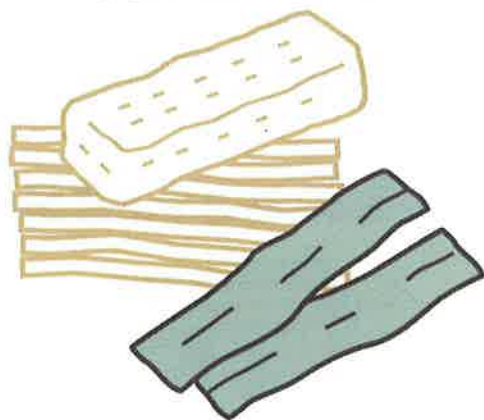
7箱が難しければ最低限必要な3日分を用意しておきましょう

続いては非常時の食についてです

2位 非常食

被災地では野菜・肉・魚・乳製品などの生鮮食品が届くことが少ないため、たんぱく質やビタミン、ミネラル、食物繊維の不足が目立ちます。

3～7日分備えておきましょう



乾物

ミネラル・食物繊維が豊富な
切り干し大根、寒天など



レトルト食品

タンパク質がしっかり摂れるお肉、
お魚が入ったもの



フリーズドライ食品

ビタミンを取るため「野菜たっぷりスープ」など野菜が豊富に入ったもの

災害時の食事は炭水化物に偏りがち
栄養バランスを考えた食材を選びましょう

ローリングストック法を活用して準備しましょう

新常識!非常食の新しい備蓄法

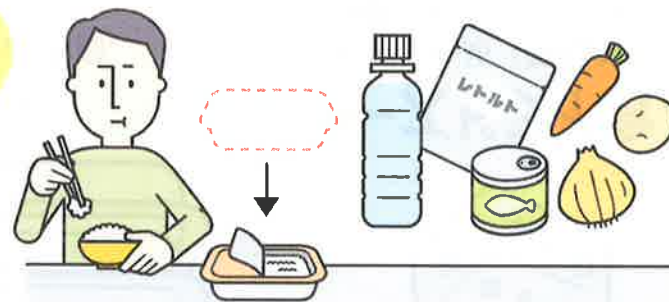
ローリングストック法を活用しよう!

1



備蓄する食料・水を少し多めに用意する

2



定期的に古いものから順に食べる

3



食べた分を買い足す

4



補充して繰り返す

ローリングストック法のメリットを説明します

「ローリングストック法」のメリット

- 賞味期限が1年でよいので、選べる非常食の幅が広がります。
- 定期的に食べるため、自分好みの非常食を揃えることができます。

「おいしいもの」、「好きなもの」を食べられるということは、被災生活で重要なポイントです。



続いては断水のときに役立つ商品です

3位 携帯トイレ (災害用トイレ)

断水になれば自宅のトイレも使えません



シートタイプ

袋の中におむつのシートが入っており、便器に被せてそのまま使えます

凝固剤タイプ

ゴミ袋と凝固剤が別々に入っており、まずは便器にゴミ袋を被せ、用を足した後に尿や便に凝固剤をふりかけて使用します



ホームセンター
などで購入できます

4人家族の場合、最低7日分70～140枚必要!

※保存期間5～10年程度

携帯トイレの使い方はご存じでしょうか

携帯トイレを使うコツ

この方法だと袋の底に水がつかず**トイレの床がぬれません**



便器にポリ袋をかぶせる



その上に携帯トイレを設置。



用を足した後、携帯トイレのみ取り出し、
空気を抜いて口をしぼる

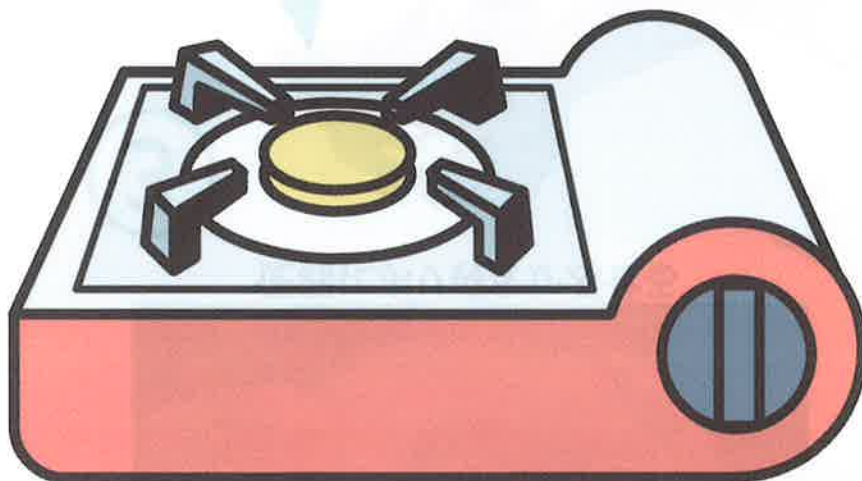


密閉できる容器で収集まで保管

続いては毎日の食に役立つ商品です

4位 カセットコンロ・ボンベ

燃料の節約ができる
「内炎式タイプ」がおすすめ



レトルト、フリーズドライを食べるために…
カセットコンロとボンベを備えよう



1本で
約60分
使用可能

災害時、
ガスが復旧するまで
1ヵ月ほどかかります
15～20本
必要!

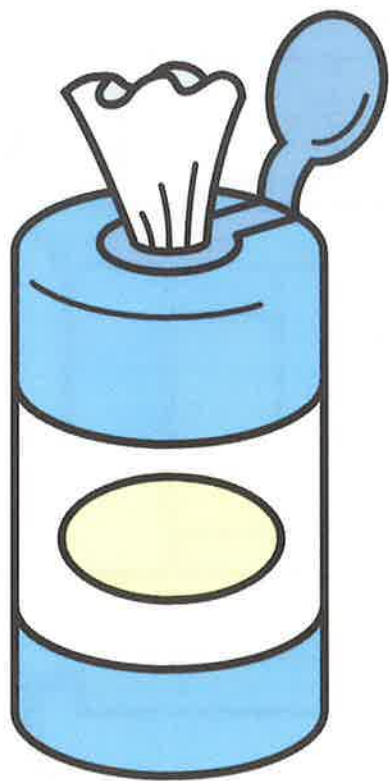
※1日30分～45分使用で

カセットコンロがあればお湯が沸かせるため、
インスタントラーメン等、食べられる食材の幅が広がります。

〔カセットコンロの使用期限：10年／カセットボンベの使用期限：6～7年〕

続いては口腔ケアに役立つ商品です

5位 口腔ケア用ウェットティッシュ



● 指に巻いて歯みがき



● 食器類も拭ける



・ノンアルコールのもので、パッケージに口の中も拭けると書いてあるものを選んでください

● 口の中が不衛生になると肺炎を発症する
可能性が高くなります。

ボトルタイプ（100枚）を1家庭に数本準備!

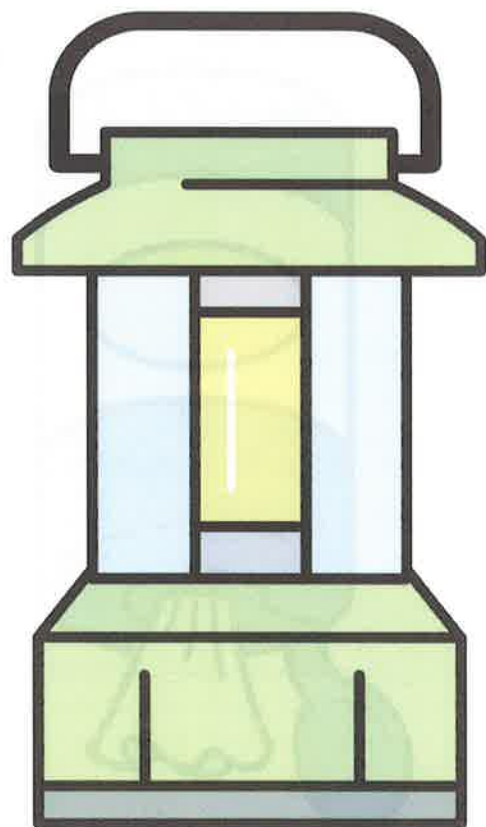
※保存期限3年



薬局やホームセンター
などで購入できます

続いては室内生活に役立つ商品です

6位 LEDランタン



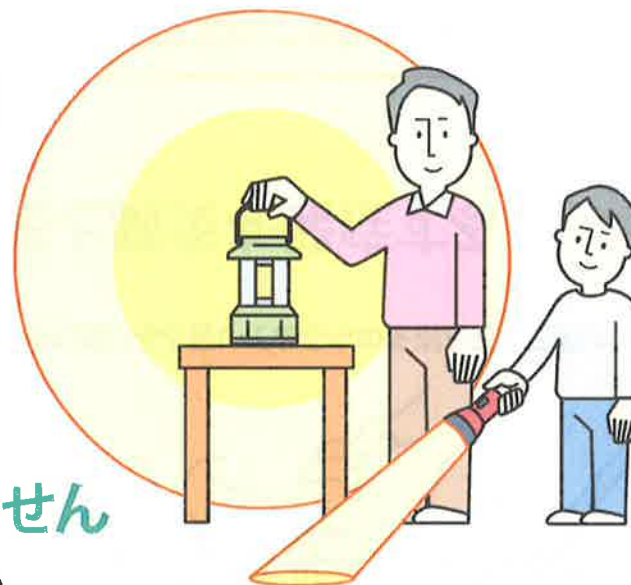
- 室内照明として部屋全体が照らせます

※懐中電灯だと
一箇所しか
照らせません

- 火事の危険がありません

※ろうそくだと余震で倒れ、
燃え移る危険性があります

- ランタンは家に
3個必要です



×

3個

ランタンはどこに設置すればいいでしょうか

家族内でのトラブルを避けるため、
同じ時間に別々で過ごす可能性のある場所、
すなわち、①リビング、②キッチン、③トイレに
それぞれ1個ずつ、最低3個用意しましょう。

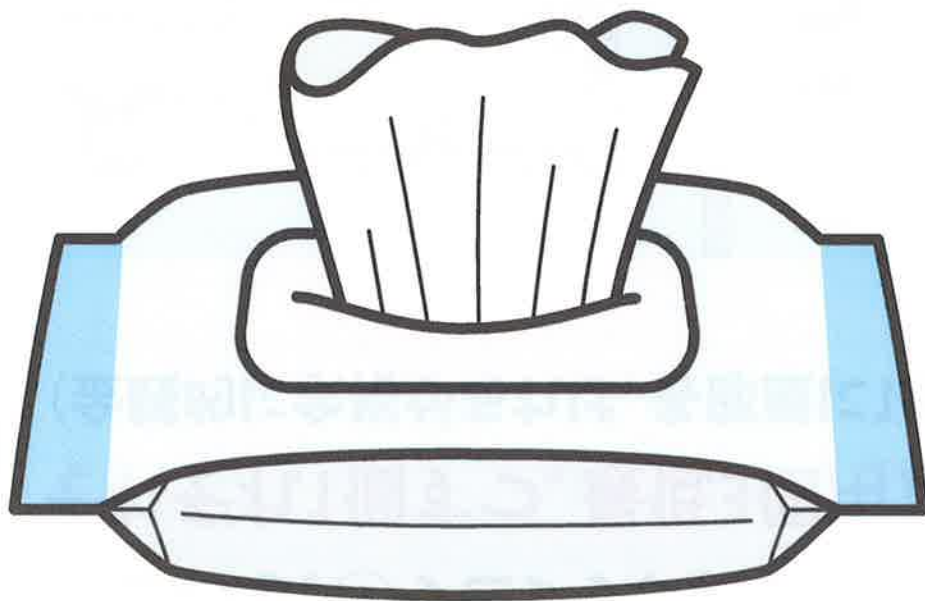
(金銭的に余裕があれば、各部屋に1個ずつ、というのが理想です。)



続いては体のケアに役立つ商品です

7位 からだふきウェットタオル

乳児・介護用の大判ウェットタオル



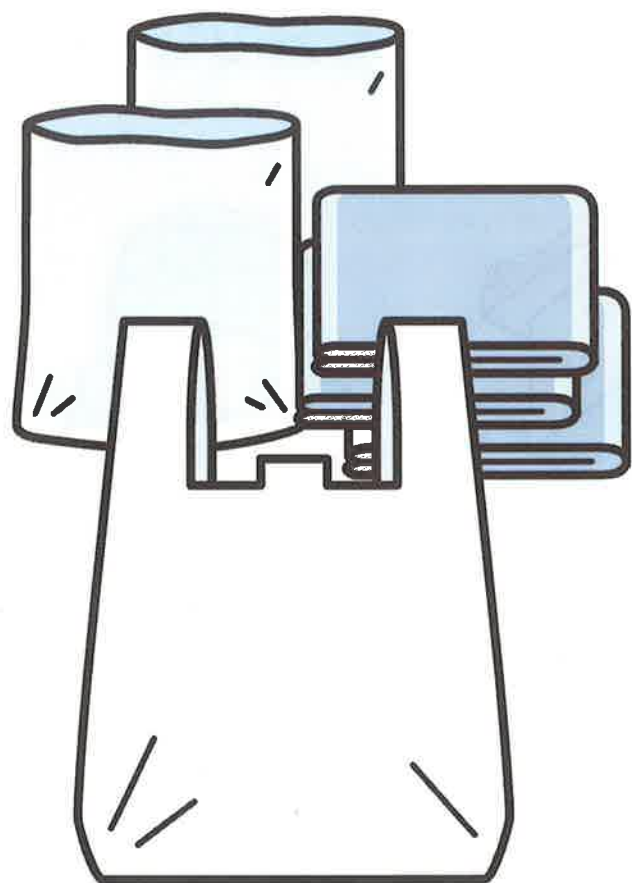
- お風呂に入れない時に
- 背中まで一人で拭ける大判サイズがおすすめ



ガスが復旧するまで1人1日1枚×1ヵ月分=30枚の備蓄があると安心

続いてはものの運搬や感染予防に役立つ商品です

8位 ポリ袋



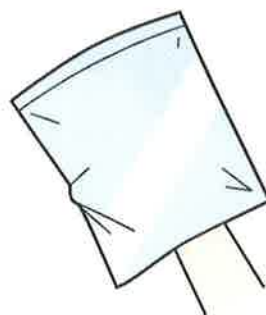
調理や水の運搬、手当時の感染防止等、
多用途です！

レジ袋は、三角巾代わりにもなります。

小さい袋だと…

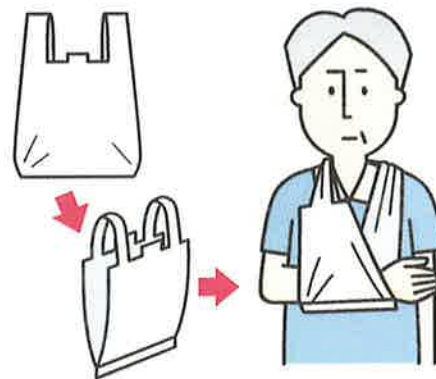


食材を洗う
ボウル代わり



感染防止

レジ袋タイプだと…



三角巾代わり

その他、防水ズボン・防寒着・ポンチョなどでも使用できます

大きいサイズのポリ袋の使い方をみてみましょう

大きい袋だと… 水を運ぶこともできます

マンションやビルの
高層階へ運ぶ時に
便利!



●汚れた容器
でもOK



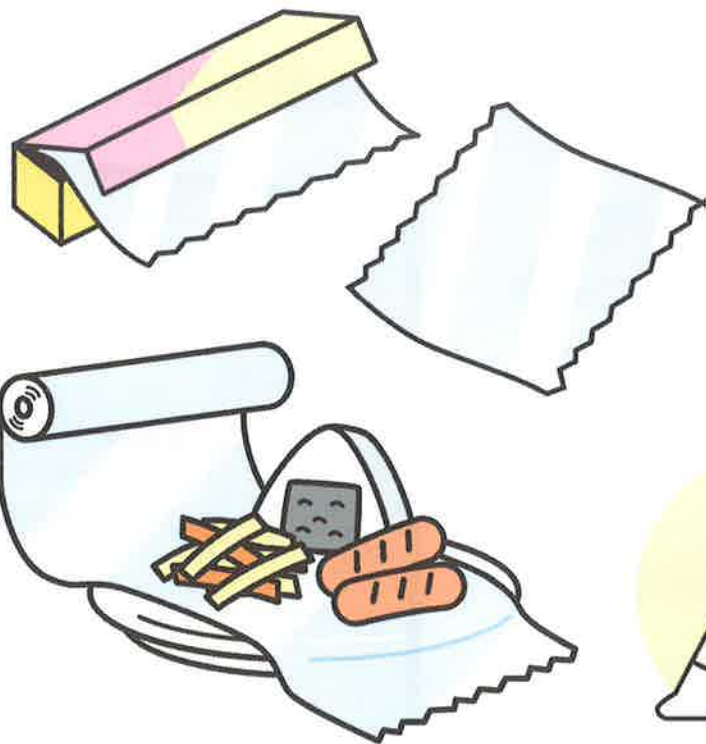
●段ボールを
バケツ代わりに



●リュックを
バケツ代わりに

続いては食器や包帯代わりに使えるお役立ち商品です

8位 ラップ



- 食器に被せて
洗う水の節約



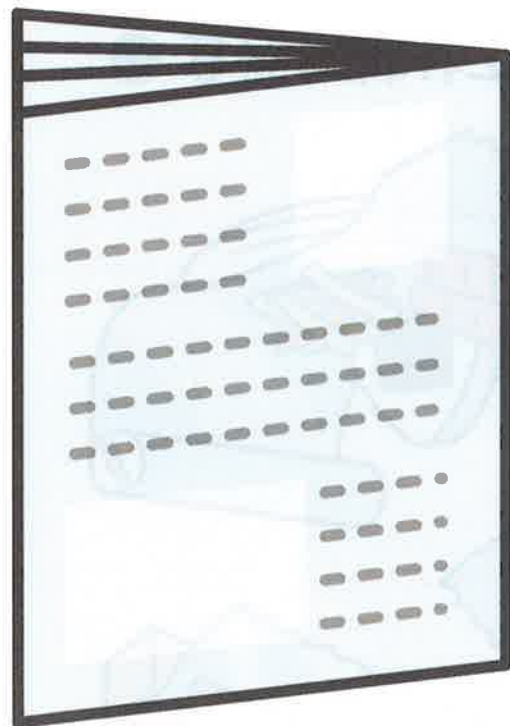
- 包帯代わりに



- 身体に巻いて
寒さ対策

続いては防寒や添え木代わりに使えるお役立ち商品です

8位 新聞紙

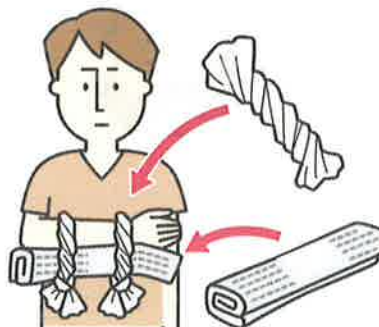


※朝刊1週間分程度の用意を

紙食器や骨折時の添え木代わり等、
多用途です!新聞紙を体に巻くことで
防寒にもなります。



紙食器



添え木代わり



トイレの
吸収剤

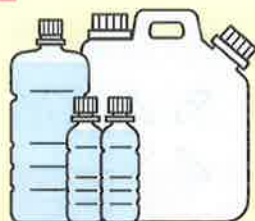


防寒

紹介したものをまとめてみましょう

在宅避難生活お役立ちグッズ10選

みなさまのご自宅には10個のうち、何個ご準備されていますか？



水



非常食



携帯トイレ



カセットコンロ
・ボンベ



口腔ケア用
ウェットティッシュ



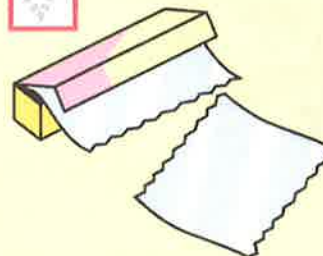
LEDランタン



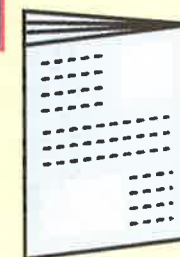
からだふき
ウェットタオル



ポリ袋



ラップ



新聞紙

10個中、個は準備できています

損害保険に加入していますか？

ご加入の損害保険を確認しておきましょう！

避けることができない自然災害や、
万一のリスクに備えるために・・・



火災による
建物の破損



風水害による
自宅の水没



地震による
建物の破損

これらのような被害の発生に備えて
損害保険を準備しておくことが大切です



どのような災害に損害保険は役立つのでしょうか

損害保険の補償対象となる災害例



火災保険への加入状況を見てみましょう

みなさん火災補償への意識は高いようです

持ち家世帯での火災保険・共済への
加入割合は約8割です



「加入してるから一安心…」はご注意！



補償内容を長期間見直していない場合、いざ火災
保険が必要な時に補償されない可能性があります
ご自身の補償内容を知ることも大切です

※損害保険料率算出機構資料(2015年度末における全保険会社の建物(住宅)を対象とした火災保険保有契約を集計)および日本共済協会資料(2015年度末におけるJA共済連、JF共水連、全労済、全国生協連の建物(住宅)を対象とした共済保有契約を集計。住宅のみのデータ抽出が困難なものを除く)をもとに、内閣府試算

ご自身による備えが必要なケースをみていきましょう

事例から学ぶ！もらい火による自宅の火災被害

もらい火で自宅が火災になった場合

隣の家から出火し、強風のため自宅に火が燃え移り、火災の大きな被害を受けてしまった…



隣家の火災保険が適用されるため、自宅の火災保険は不要でしょうか？

もらい火による被害から自宅を守るために

失火責任法に基づき、出火元に損害賠償請求ができない可能性があるため、もらい火による被害から自宅や家財を守るためには**ご自身による火災保険の準備が必要**になります。

失火責任法とは…出火元から周辺の自宅に火が燃え移った場合、出火元に重大な過失が認められない限り、出火元に賠償責任はないと定めた法律

重大な
失火例

台所のガスコンロに天ぷら油の入った鍋を火にかけたまま、その場を離れて出火させた場合

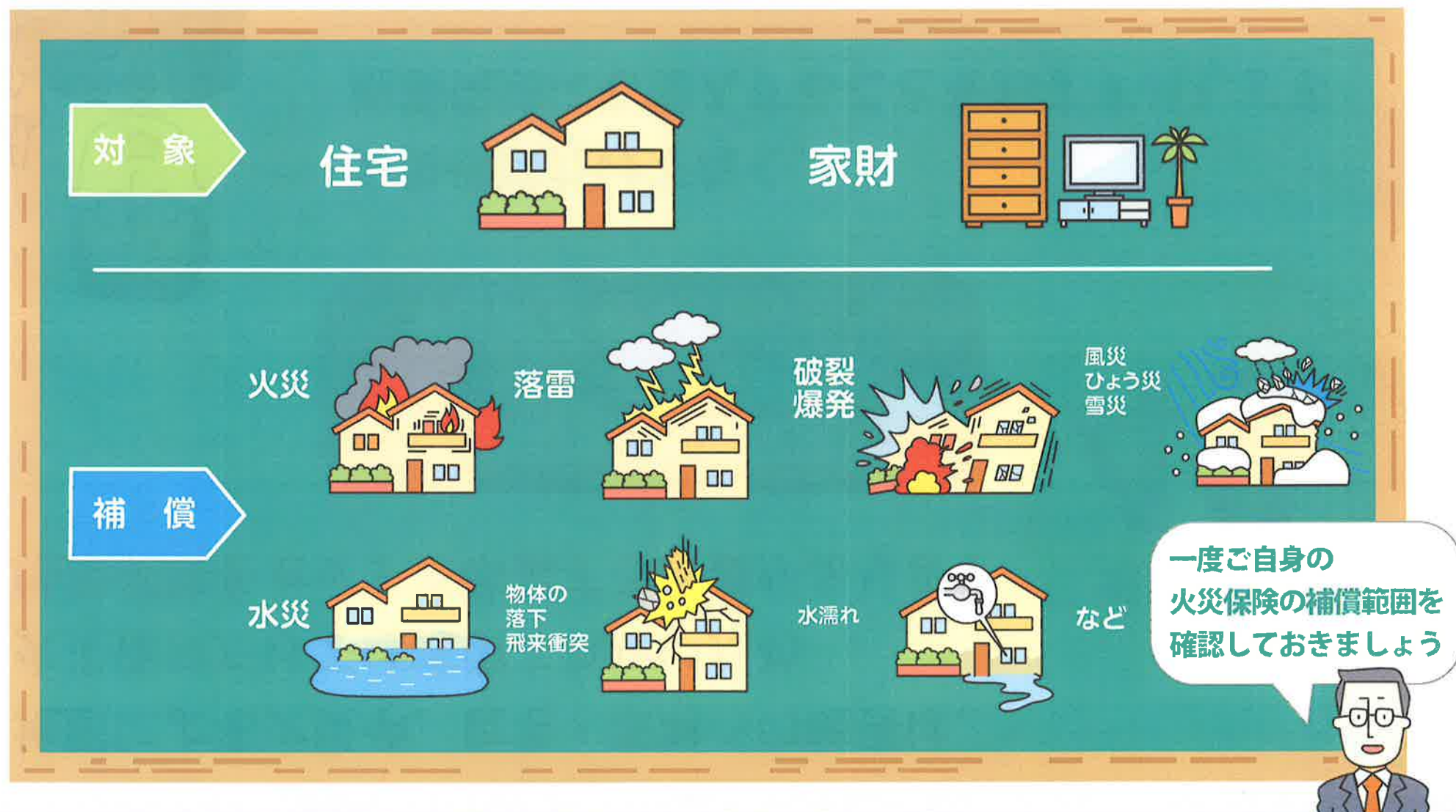


一般的にはご自分の家や家具は、ご自身で守る必要があります



火災保険の補償範囲を確認しましょう

火災保険の対象と補償範囲



地震による被害は、火災保険で補償されるのでしょうか

地震による被害は火災保険では補償されません

地震による火災や、自宅・家財への被害は、
火災保険だけでは補償されないため
地震保険をセットで準備する必要があります

火災保険に地震保険を
セットしている割合は
約5割です

地震補償あり

49%



火災保険だけでなく、
地震保険にも加入することをおすすめします

※損害保険料率算出機構資料(2015年度末における全保険会社の建物(住宅)を対象とした火災保険保有契約を集計)および日本共済協会資料(2015年度末におけるJA共済連、JF共済連、全労済、全国生協連の建物(住宅)を対象とした共済保有契約を集計。住宅のみのデータ抽出が困難なものを除く)をもとに、内閣府試算

ご自宅に戻られたら、まずご自身の火災保険・地震保険の
内容を確認しましょう

保険証券をご確認ください～その1～

保険証券		《保険証券サンプル》
保険契約者	証券番号	
ぼうさい 防炎 たろう 太郎	XX-XXXXXX	
保険期間 20XX年X月X日～ 20XX年X月X日		
地震保険の有無	建物 ☐ 家財 ☐	
補償の対象となる方		
被保険者・本人：防炎太郎		
補償の対象となる物件（保険の対象）		
建物内に収容される家財一式		

確認のポイント！

- ①保険期間（保障の期間）
- ②地震保険の有無
- ③補償対象の物件



※保険証券は損害保険会社によって内容・デザインが異なります

加入している補償内容も確認しましょう

保険証券をご確認ください～その2～

《保険証券サンプル》

補償内容

証券番号： 保険約款：
 保険期間：
 契約者名：

補償の内容と支払限度			
	建 物	免責金額	ご確認事項
火災 ・火災 ・落雷 ・破裂・爆発	☐		
風災 ・風災 ・雹災 ・雪災	☐		
水災・水災	☐		
盗難・水濡れ	☐		
破損	☐		

地震保険の補償の内容			
	建 物	家 財	ご確認事項
地震 ・地震 ・噴火 ・津波	☐	☐	

確認のポイント！

- ④火災や風災・水災の
補償がついているか確認
- ⑤地震保険の補償が
建物・家財に
ついているか確認



※保険証券は損害保険会社によって内容・デザインが異なります

災害が発生したときに補償されず困らないために…

この機会に、
ご加入の火災保険の
補償内容について
もう一度しっかり
確認しておきましょう



本日のまとめ

- 避難とは避難所に行くだけではない
- 分散避難先を確認!在宅避難がおすすめ

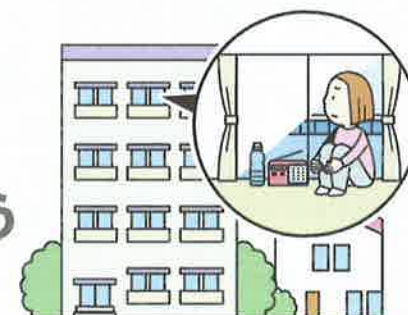
メリット

- 事前に対策しておけば、普段と同じ生活ができる
- 他の人に気を遣わなくて良い
- 感染症のリスクが低い

- 在宅避難をするために必要なこと

条件

- 住んでいる場所の安全確認
- 家の耐震性をチェック
- 家具転倒を防止する防災対策を行なう
- 在宅避難用グッズを備える



被災したときに備えて、どこに避難すべきか家庭内で共有しておきましょう
また、ご加入の火災保険についても、内容をご確認ください

今日お伝えした内容をもとに、
「在宅避難」の準備を始めましょう
ご清聴いただきありがとうございました

※公的社会保障制度等に関する記載は、2022年3月現在の税制に基づくものです。

制作 NPO法人プラスアーツ

明治安田生命保険相互会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
TEL.03-3283-8111(代表)
ホームページ <https://www.meijiyasuda.co.jp/>

担当者

